

『地域の学校教育のあり方を考える会』の協議の経過と今後の進め方について

協議の経過

多可町教育委員会では、昨年7月に『地域の学校教育のあり方を考える会』を立ち上げ、近い将来の小中学校のあり方について話し合いを行ってまいります。協議の経過と今後の進め方についてお知らせします。



第1回(令和2年7月31日)

児童・生徒数など学校の現状説明
「クラス替えができない」「部活動が合同チーム」など学校の課題や、町全体の出生数が年間77人まで減少していることなどを説明しました。

第2～4回(令和2年9月～11月)

ワークショップおよび意見交換
学校の現状を踏まえた上で、

『子どもたちにとって望ましい教育環境』について協議を行いました。※下記参照

第5回(令和3年3月10日)

ワークショップ(テーマ…中学校を)を実施

「望ましい教育環境」を実現するため、中学校のあり方について協議しました。

議論の中では、「中学校を統合することも仕方ないのでは…」という意見が多くありました。

その場合に解決しなければならぬ課題として、「通学時間や通学方法、人間関係と心のケア体制、財政面、地域に学校がなくなる不安」などが挙げられました。

一方で、「学校統合せずに、もう少し小規模校のままで継続できないか」という意見もありました。

地域の学校教育のあり方を考える会委員構成

- ・代表区長(各小学校区)
 - ・小中学校保護者代表
 - ・こども園保護者代表
 - ・識見を有する者
 - ・小中学校長
- 計29人

子どもたちにとって望ましい教育環境のまとめ

※委員意見より抜粋

学習面	学習面	一人一人にきめ細やかな丁寧な指導が受けられる 教員が余裕を持って児童生徒に関われる 専門的な指導が受けられる
	行事 部活動	たくさんの児童生徒による集団活動ができる 部活動が選択できる
生活面		クラス替えができる いろいろな価値観に触れることができる 集団行動、コミュニケーション能力を身につけられる 多くの教員で、多くの価値観で指導できる
学校運営面		適正な人数の教員配置がある 教員の「働き方改革」が実現できる
通学		安全で安心な登下校ができる 通学時間による不利益が生じない
その他		地域住民や特色ある文化との連携 地域に支えられる学校

今後の進め方

これまでの協議の経過について、6月以降に順次、住民説明会を開催し、保護者や地域の皆さんにご報告します。また、皆さんや子どもたちの意見を聴かせていただきながら議論を深めていきます。

住民説明会の開催

就園前のお子さんの保護者、こども園の保護者、小中学校の保護者、地域の皆さんを対象とした説明会の開催を予定しています。

開催日時、場所などは、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら改めてご案内します。

問合先

地域の学校教育のあり方を考える会事務局(教育総務課内)

☎(32)2384

※詳しくは、町ホームページをご覧ください。

